

日本ねじ研究協会の沿革

- 昭和 44 年(1969)10 月 24 日 創立、初代会長 遠山四郎(東京螺子)
- 昭和 45 年(1970)6 月 2 代会長 石井義昌(桂川精螺)
研究委員会、標準化委員会、指導委員会、出版委員会が活動開始
ISO/TC1(ねじ)及び TC2(締結用部品)への対応
- 昭和 48 年(1973) ISO ねじ導入の第 3 次 JIS 改正
- 昭和 52 年(1977) 締結性能に関する調査研究
- 昭和 58 年(1983)6 月 3 代会長 岩本精三(トープラ)
塑性域ねじ締結に関する調査研究
- 平成 3 年(1991)6 月 4 代会長 藤本美明(互省製作所)
- 平成 9 年(1997)6 月 5 代会長 佐藤義朗(サトーラシ)
- 平成 12 年(2000)10 月 工業標準化功労により通商産業大臣表彰を受ける
- 平成 13 年(2001)6 月 6 代会長 望月正紀(クラウン精密)
- 平成 20 年(2008)6 月 7 代会長 竹中弘忠(竹中製作所)
- 平成 21 年(2009)10 月 ISO/TC2(締結用部品)国際会議を日本(東京)で初の開催
- 平成 22 年(2010)6 月 8 代会長 相澤正己(メイラ)